



世界の平和を願って

なんで生協が平和のとりくみをするの？

《よどがわ》の『めざすこと』は「笑顔ひろがる 豊かなくらし」です。平和であってこそ、くらしの豊かさが実現できると考え、いのちとくらし、環境を破壊する戦争に反対し、核兵器をなくす運動や平和憲法(9条)を守る運動をすすめています。

ピースリレーってなあに？

1945年広島・長崎に原爆が投下された9年後、アメリカは太平洋ビキニ環礁にて水爆実験をしました。近くでマグロ漁をしていた日本の第五福竜丸の乗組員が被爆し、まわりの海や島は放射能で汚染されました。広島・長崎に続く三度の被害に原水爆の禁止を求める署名運動が草の根から始まって日本全国に広がり「原水爆禁止世界大会」が広島・長崎で開催されることになりました。

この世界大会に向けて、日本各地から広島・長崎



7/6 平和をアピールしながら歩きました

まで歩いて平和をアピールするのが「平和行進」です。

毎年5月、第五福竜丸が展示されている東京・夢の島を出発した平和行進は、7月6日に



平和グループによる詩の朗読

《よどがわ》のエリアを通過します。

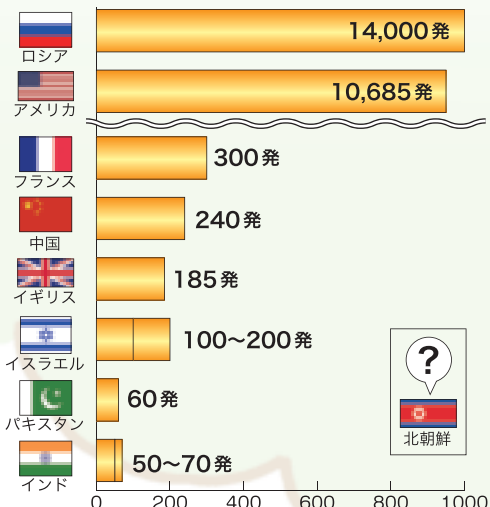
今年も《よどがわ》は同じ区間を「ピースリレー」として位置づけ、地域の人々とともに「核兵器のない世界」を求める声を一つにして歩くことが平和への一歩と考え、とりくみました。

核兵器をなくすには？

世界にはまだ2万6000発もの核兵器があるとされています。「核兵器をなくして」の想いは、被爆国・日本だけでなく、世界の願いです。

今年4月アメリカのオバマ大統領が米国大統領として初めて「核兵器のない世界をめざす」と演説し、「今こそ核兵器をなくす絶好のチャンス」と、世界的に運動が広がっています。

▼核弾頭保有国の保有数



【出典】アメリカ=イギリス・ロシア・パキスタン・イスラエル=プレティン・オブ・アトミック・サイエンティスト2007~2008年5・6月号およびSIPRI Yearbook2006より
フランス=プレティン・オブ・アトミック・サイエンティスト2008年7・8月号より
中国=同上 2008年5・6月号より
インド=同上 2008年9・10月号より

来年5月には国連でNPT(核不拡散条約※)再検討会議が開かれます。

その会議にむけて《よどがわ》でも、学習会や街頭で「核兵器のない世界を」の国際署名をおこなっています。来年2月には配送・店舗で呼びかける予定です。たくさんの方が手をつないで伝えていくことが大きな力になります。ぜひご協力ください。

※NPT(核不拡散条約)って？

「核不拡散」「核軍縮」「原子力の平和利用」を目的に1963年に国連で採択された条約。(1970年発効)5年ごとに見直しのための再検討会議が開催されています。



この畑では農業は1回だけの散布(摂津)

紀ノ川農協へとうもろこし狩り

7月11日 吹田行政委員会、12日 摂津行政委員会主催



の日差しが照りつける中、バスで行ってききました。今回は土・日ということもあり、家族総出の参加者も見られました。生産者の方の説明を聞いた後、早速畑に入り、とうもろこしをその場でガブリ!「おいしい!」「こんなに甘いとは思わなかった!」という声があちこちで聞かれました。そのため何本も食べる方も。また、子どもたちもお母さんやお父さんと一緒にとうもろこしを食べていました。参加者の感想でも初めてとうもろこし狩りをされた方が多かったようで、子どもたちにはいい経験となったようです。



参加者全員で記念写真(吹田)

梅の香りの漂う中で「梅干漬け」

梅 雨の晴れ間の6月25日(木)淀川みくるクラブに奈良県美吉野農園から講師の方2名に来ていただき、31名の参加者で「梅干漬け」の講習会を開催しました。

当日参加された、ほとんどの方が梅干を初めて漬けるということで、梅を洗い布巾で水気を拭き容器に1キロの梅に対して20%の塩を交互に入れるとこまで、皆さん熱心に講師の話聞き、「カビが出たらどのように取り除くの?」「赤ジソはいつ梅干にいれるの?」「梅干の塩分控えめはどの位まで控えられますか?」などたくさん質問に美吉野農園の和田さんも

「こんなに質問が出たのは久しぶりです。若い組合員さんにもっと梅干を漬けてほしいですね」と汗だくになつて、皆さんの質問に答えていました。



梅漬けの「先生」和田さん(左)と森井さん



特大の梅を丁寧にふいて、容器に入れました

NEWS FILE

ニユースファイル

【梅干漬けとうもろこし狩り】